

評価シート 様式

取組名	「てんぽくツーリズム・ブランドの確立」にむけた基礎調査と社会実験		
実施団体名	てんぽく活性化協議会	対象地域	北海道 幌延町・天塩町・遠別町
(代表団体名)		推薦団体名	幌延町・天塩町・遠別町

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたととは判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	「てんぽくツーリズム・ブランドの確立」にむけた基礎調査と社会実験		
実施団体名	てんぽく活性化協議会	対象地域	北海道 幌延町・天塩町・遠別町
(代表団体名)		推薦団体名	幌延町・天塩町・遠別町

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見 先導性・モデル性:有名観光地ではない地域において、民を中心とする協議会を核に、水産物や観光資源を活かした地域活性化に向けた取組を着実に実施している。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。 (評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
複数町の民間団体が連携し、豊かな自然や食などの地域資源を活かしたツアーの実証実験や商品開発・販売実験等において一定の成果が得られた点が評価できる。今後は以下に留意しつつ地方の元気再生事業として支援を行うことにより本格展開に向けた継続的な展開が期待できる。 次年度以降については、事業の本格展開に向けて、いかに早期に安定的・持続的な体制構築を行い、継続的な事業展開を図ることができるかが最大の課題であると考えられるため、それらの視点に立って各取組を行い、22年度以降の自立的展開を図るべきである。 具体的には、取組「事業推進会議の開催」については、体制構築に必要な取組であり実施すべきである。取組「ツアー開発部会の開催」については、20年度に実施できなかった夏季に試行ツアーを実施する等の重点化を図るべきである。取組「商品開発部会の開催」については、20年度に開発した商品の販売計画等市場成立性の検討等の重点化を図るべきである。取組「トレーサビリティ検討部会の開催」については、アンケート結果を踏まえ、20年度開発した簡易システムの本格化の検討に重点化を図るべきである。取組「てんぽくファン開発部会の開催」については、地元出身者に限らないファン開発方策を抜本的に見直した上で、他の取組とのさらなる相乗効果を図る取組を行うべきである。取組「ツーリズム・カレッジの開催」については、人材育成という観点では重要な取組であるが、中長期的視点に立った取組が必要であり、他の取組との連携・相乗効果も限定的であることから、本事業に依らずに自主的な運営を図りたい。	